



# キッズみんなの日記

7月号

梅雨明けを目前に控え、夏の日差しが待ち遠しい季節となりました。みなさんは、通知表の評価も夏休みの計画にワクワクと胸を躍らせていることと思います。

私事を少しだけ。息子達の仰天発言には、日々驚かされ、ため息の連続です。先日、長男が唐突に、「お母さん、キャバツは青虫の卵がついているものを買ってね。おれは、青虫をまん白ちゅうにする。」なんていう決心。私にとっては、最悪の宣言。世の中で一番苦手な「芋虫」を育てる!? 断固戦いました。仕舞いには、学校の先生を味方につけた息子。「先生が、理科の授業で必要なことだから、好きとか嫌いとか関係ない、と言っていたよ。」はあ…負けました。外でしつかり蓋を開けて育てることを条件に泣く泣く許可しました。この他にも、学校帰りに川の近くでカニを拾ってへる、チヨウを見かけるとすぐに捕まえる…石ころを集めてスボンのポケットに忍ばせておくから、洗濯機が壊れそうになる、外に出れば、一分で泥まみれ。女の子が欲しかったとついつい考えてしまっ私ハダメな母。

そんな時、みんなの日記が私の教科書となります。みなさんが、生き物や周りの人に興味を持ち、遊びや新たな挑戦から多くのことを学ぶことで健全に成長している様子を知ることが、納得したり、感心したりしています。みなさんのお母さんを見習って、息子達の奇怪な行動をちよっとだけ頑張って理解してみようと思えるのです。そのくらい、みなさんの日記は魅力的なものだということです。これから、みなさんの日記を楽しみにしています！

## 優秀作品紹介

★日常の「コマ」を生きて生きて★

町たんけん



わたしは、あしたべんてん池公園に町たんけんにいけます。

ほんとうは、せんしゅうの水よう日に行くはずでした。けれども、雨がふってきたので、ちゅうしになりました。みんな、きょうしつで、「ざんねんだなあ。」と言っていました。その日の一時間目に、こんどの水よう日に行く町たんけんのお友達と園で、どこを見るのかを先生がみんなに教えてくれました。ひろ場に行きます。ひろ場はひろいと思います。二年生ぜんいんで行くのが楽しみです。早く、あしたになつてほしいです。(小二・WYさん)



町たんけんが雨で中止になったこと、その時のクラスメイトの様子など、生き生きと表現できましたね。先生の話を一生懸命聞く丫ちゃんの様子から、明日の町たんけんを心待ちにしていることがとてもよく伝わってきます。

## ★自分の思いを伝える★

かぶと虫のよう虫 今日、ぼくは、学校の近くの土に「けむしがいる。」とさげんだ。でも、それは、けむしではなく、かぶと虫のよう虫でした。ぼくは、そのよう虫を家に持って帰って、かぶと虫といっしょにいれておきました。うれしかったです。(小三・H君)



毛虫とカブトムシの幼虫を間違えたお茶目なY君。セリフから始まる場面が印象的な文章ですね。立派なカブトムシに成長するのが楽しみです。

土曜日のじゆく 来週グリーンスクールで行けないじゆくのかわりに今日行きました。はじめて土曜日にじゆくに行つたので、楽しみでした。とても静かで、いつもとへやもちがってちよつと落ち着かなかつたけど、重力の話になったときは、すごくおもしろくて、土曜日もいいなと思いました。



また土曜日にじゆくに行つてみたいです。(小四・ARさん)

## ☆☆☆出来事や気持ちをよの細やかに伝える☆☆☆

うれしかった放課後 放課後、友だちとトカゲを探しに行きました。ぼくは、トカゲを何回もにがしているの、今日こそはつかまえてやると思っていました。友だちの家の林の近くに、よくとかがいるのでがんばって探しました。そうしたら、「いた、いた。」と、小さな声で言いました。ぼくは、トカゲに向かってすばやく手を出しました。つかまえたと思ったら、手の間からすばやくぬけていってしまいました。ぼくは、あきらめかけて家に帰ろうとした時に、草のほうで何かが動きました。しずかに見てみると、さっき逃がしたトカゲがいました。ぼくは、もう一度がんばってすばやくトカゲに手をやりました。手を見たら、トカゲ



がいました。ぼくは、うれしくてとびあがりそうになりました。家に帰つてもうれしくてたまりませんでした。(小五・YY君)

冒険小説を読んでいるようなワクワク感が味わえる日記ですね。「意気込み」↓「緊張感」↓「落胆」↓「喜び」とY君の気持ちの変化を生き生きと表現しています！素晴らしいです。

## かべとう立

今日、家でかべとう立の練習をしました。なぜ練習したかというのと、もちろんかべとう立ができないからです。でも、なぜできないかということはない、なんとなくわかります。それは、足や体が上がらないこと。そして、一番の理由がこわいからということ。私はこわくて、足も体もあがらなかつたんだと思います。



まず、下にふとんをしいて、足を軽く上げて、お母さんにかべまで足をもっていつてもらいます。それを何度かやったら、次に思いっきり足を上げます。お母さんに見てもらい、アドバイスなどをしてもらいながらやっている、かべに足が近づいてきて足がかべにつきまます。これで、私はできるようになりましました。

初めてかべとう立ができたときは、本当に本当にうれしかったです。そして、コツがわかりました。それは、こわがらないことです。手伝ってもらったときは、相手を信じることも大切だと思えます。

何度もやっているうちに、気がついたことがあります。それは、努力をすれば、人はいろんなことができるんだということです。水曜日には体育があ

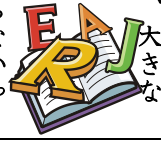
るけれど、その時までにはきれいにできよう完ぺきにしたいです。

(小五・KAさん)

諦めず、一生懸命練習するAちゃんは立派です。そして、努力した者だけが発見できる「ゴツ」を上手に説明しています。怖がらないこと、相手を信じることをとても大切ですね。

英検三級

六月十日、一次試験の発表があった。ぼくが、学校から帰ってきたら、家族みんなが、「受からなかったよ。」と言った。ぼくは、悔しくて泣きそうになって、自分の部屋に行って荷物を置いて下におりた。みんなが、大きな声で、「おめでとう。」と拍手をしていた。



初めはぼくは、わけがわからなかった。だんだんわかってきて、ぼくは泣いた。すごくうれしかった。そのあと、みんながたくさんほめてくれて、さらにうれしくて、また泣いた。

(小五・SM君)

M君、一次試験合格おめでとう！家族のサプライズに嬉しい思いをしたり、うれし涙を流したり、とM君の素直な感情が生生きと表現されていました。

マザー牧場

私は、家族全員でマザー牧場に行きました。マザー牧場に着いたら、入場券を買い、中に入りました。着いたのが十二時ぐらいだったので、まきばカフェでお昼ご飯を食べました。そのあと、ヤギにえさをあげて、アルパカと牛にえさをあげました。

次に、ひつじ&馬ゾーンに行くのに坂道を上って行ったら、ひつじがいました。えさをあげたら、私になついていた。とてもかわいかったです。

そのあと、バニラ味のアイスクリームを買って帰りました。(小六・MAさん)

Aちゃんの後をモコモコの羊がついて歩く様子が絵本の一ページのように可愛らしいですね。牧場のバニラアイスは絶品ですよ。

楽しかった自然教室

わたしは、水曜日から金曜日まで楽しみにしていた自然教室に行ってきた。新潟県魚沼市では、山の近くのセミナーハウスに泊まりました。新潟県は、すごく暑かったので朝から汗をかいてしまいました。

自然教室で楽しかったことは四つあります。とても楽しかったことです。一つ目は、キャンプファイヤーです。外で火の神様が来て、火をもらってつけました。歌を歌ったり、ゲームやダンスをしたりしました。楽しかったです。

二つ目は、ロープウェイに乗って八海山の山頂まで行ったことです。カメラでいっぱい景色を撮りました。きれいでした。

三つ目は、ナイトウォークです。暗い道を歩いて、おぼけが出てきました。友達泣いていました。こわかったです。

最後は、オリエンテーリングです。先生方から問題の紙をもらって問題を解いていきました。距離もすごく長かったのでつかれました。

いい思い出ができました。とても、楽しかったです。(小六・YYさん)

自然教室の中でも、四つのことに話題を絞って、上手に書き広げていますね。場面を絞ってYちゃんの印象に残った四つのイベントにスポットを当てたことで、楽しさが強調され、読み手も共感できる文章に仕上がりました。

ラファエロ展

今日、母とラファエロ展へ行きました。ラファエロは、一四八四年、イタリアのウルビーノで生まれた画家です。若いころから、才能があったラファエロは、ペルージャ、フィレンツェと移り住み、それぞれの街で活やくしていた、ペルジーノ、レオナルド・ダ・ヴィンチ、ミケランジェロなどから、多くを学び、自分の絵を確立していったそうです。



ローマでは、ヴァチカン宮殿のへき画、宗教画など多くの作品を制作し、大成をおさめたそうです。しかし、ラファエロは、三十七才の若さでこの世を去ってしまいました。

「大公の聖母」は、背景が黒です。ラファエロは、聖母子の絵をいくつもかいていますが、背景が黒いものは他にないのだそうです。ラファエロ自身がかいたのか、だれかがあとからかいたのか、ずっとなぞでした。でも、X線さつえいをしてみたら、もともとの背景は室内の風景だったそうです。

さらに、幼子イエスのかみの毛の絵の具筆使いは、ラファエロのものとは全くちがうそうです。だれがやったんだらう。もとの絵を見てみたいと思います。

今度は、今やっているレオナルド・ダ・ヴィンチ展に行ってみよう。(小六・UMさん)

やったあ

ラファエロの生涯も作品についても、とても上手に説明できましたね。絵画展のパンフレット顔負けです。謎の残る「大公の聖母」の絵に対するMちゃんの疑問や思いを上手に書き広げました。お見事！



みんなが一斉にさけんだ。なぜならブロック大会というミニバスケットの大会で勝つことができたからだ。私たちの小学校は、「大橋小」「梨香台小」と戦った。

二試合とも、すごい接戦だった。私は、「もう負けるかもしれない。」と思った。けれど、最後の力を出し切った。

「五、四、三、二、一、ピーッ。」フエの音がなった。ベンチの仲間が、「キヤー。」

「やったー。」と飛び上がって喜んでいて。担当の先生も、「よくやった！」と頭をなでてくれた。



相手チームは、負けて大泣きしていた。でも、まだ中央大会という、さらに大きな大会が待っている。中央大会も負けずに優勝したい。

(小六・YMさん)

みんなの歓声で始まる印象的な書き出し、緊張感のある試合の様子、セリフを効果的に使った喜びの表し方、どれをとっても満点です。Mちゃんとチームメイト、先生の一体感が爽やかな素敵な青春日記でした！おめでとう！

●今月の「伊藤先生のおすそめ本」のコーナーは優秀作品多数等紙面の都合によりお休みさせていただきます。ご了承ください。来月号をお楽しみにお待ちしております。